

KYOTO
TACHIBANA
FACT BOOK
2025



変化を楽しむ人であれ

京都橘学園

KYOTO TACHIBANA FACT BOOK 2025

CONTENTS

理事長メッセージ	01
数字で見る京都橘学園	02
京都橘学園のあゆみ	04
京都橘学園のマスタープラン	06
京都橘大学の教育	07
京都橘大学の教育・サポート	08
京都橘大学のキャンパス・施設・設備	10
京都橘大学の課外活動	11
京都橘大学の研究推進	12
京都橘大学の社会連携活動	14
京都橘中学校・高等学校の教育	16
京都橘中学校・高等学校のクラブ活動	17
たちばな大路こども園の教育・保育	18
たちばな大路こども園の特色ある取り組み	19
京都橘学園機構図	20
リンク集	21

時代と共に、変化し、成長し続ける。 『学びで世界を変える』学園をめざして。

学校法人京都橘学園は、2027年に学園創立125周年・大学開学60周年を迎えます。

創立以来、人と社会に尽くす自立した人材の育成を掲げ、時代に、社会に、人々の学ぶ意志に応える改革を重ねてきました。現在では、大学・大学院、中学校・高等学校、こども園に、約10,000名の学生・生徒・園児が集う総合学園へと成長しています。地域・企業の皆さまやご家族、卒業生の皆さまには、日頃より本学園の教育研究活動への深いご理解と温かいご支援を賜り、学園関係者一同たいへん勇気づけられております。

本学園に心を寄せてくださる皆さまに深く感謝申し上げます。

京都橘大学は1967年に文学部単科の女子大学として開学。2005年の男女共学化、大学名の改称、京都の私立大学として初の看護学部設置を皮切りに医療系学部を拡充し、西日本最大級規模の医療系分野を有する総合大学となりました。2021年にはAI時代の社会の要請に応える工学部、経済学部、経営学部を同時に開設、2023年には現代社会に不可欠となるデータサイエンスの基礎を全員が学ぶ総合心理学部が誕生しました。また、2024年にはIT系人材の質と量を充実させるために大学院情報学研究科を設置するなど、文理横断の新たな学びの環境を充実させて「総合知」を涵養しています。さらに2026年にはAI・情報・医療の一大教育研究拠点をめざし、デジタルメディア学部[※]、工学部ロボティクス学科[※]、健康科学部臨床工学科[※]の新設を予定しています。「自立・共生・臨床の知」の教学理念のもと、予測困難な時代に学生が自信を持って選んだ道を歩めるよう、一人ひとりの成長を支援する教育に尽力しています。

京都橘中学校・高等学校は、「自立・共生」を教育理念に掲げ、常に先進的な教育を取り入れることにより、高い実績を確立しています。難関大学への進学実績は飛躍的

に向上し、クラブ活動においても女子バレーボールや男子サッカー、陸上競技、吹奏楽、太鼓など、全国レベルの成果を生み出しています。特に、吹奏楽部はアメリカで開催されるローズパレードへの出場回数が日本トップとなっています。生徒たちのエネルギー溢れるパフォーマンスは世界に響き渡り、多くの人の心を動かしています。

たちばな大路こども園は、地域や自治体の皆さまから多大なるご協力を賜り、開園8周年を迎えました。教育・保育理念に掲げる「自立・共生」のもと、自然、あそび、仲間を大切にした教育・保育でのさまざまな生活・経験を通して「生きる力」の土台をつくり、園児たちが心も体もしなやかに逞しく成長することをめざしています。

本学園は、2023年度より新たな社会価値の創造をめざして、第3次マスタープラン(中期事業計画)を策定し、さらなる改革を進めています。時代や社会が大きく変化しています。だからこそ、本学園で培われる総合知により、これまでにない価値を生み、自身や世界を変えるような新たな学びの環境の創出に向け、「学びで世界を変える」を合言葉に構成員一丸となって挑戦を続けてまいります。また、学園と地域社会が一体となるような産官学連携の教育研究や心身の健康と人とのつながりを生みだす交流を通じて、地域全体のWell-Being 実現へ貢献していく所存です。

これまで学校法人京都橘学園は、学生・生徒・園児、保護者、教職員、近隣自治体や関係企業・団体の方々、数多くの卒業生によって支えられ発展してきました。改めてご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、引き続き本学園に対する物心両面での格別のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年7月

学校法人京都橘学園 理事長 片山 傳生



学校法人京都橘学園 理事長
片山 傳生



京都橘大学 学長
岡田 知弘



京都橘中学校・高等学校 校長
安田 文彦



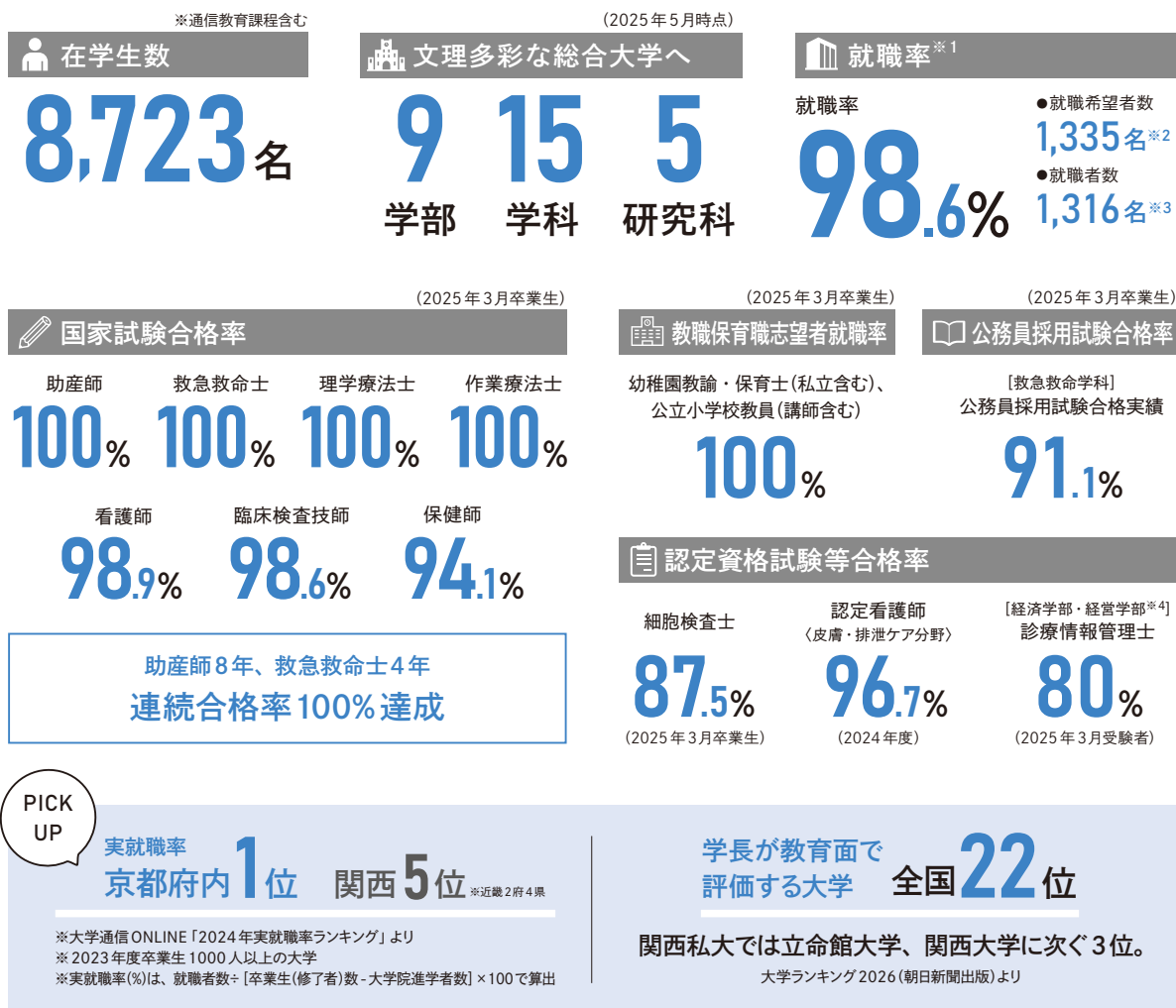
たちばな大路こども園 園長
河口 智津子

※ いずれも仮称。2026年4月開設予定(設置計画中)。計画内容は予定であり変更することがあります。

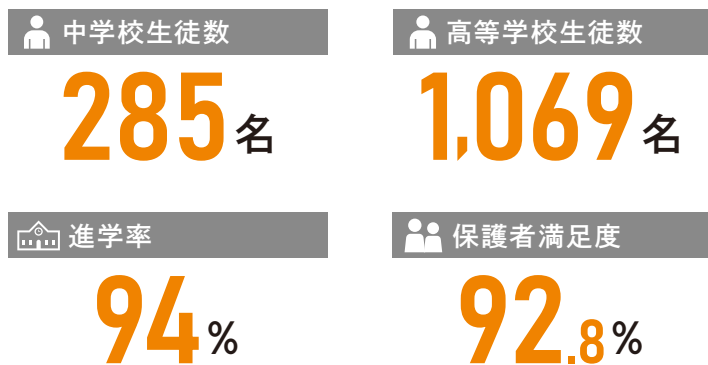
TACHIBANA IN NUMBERS

数字で見る京都橘学園 (2025年5月1日現在)

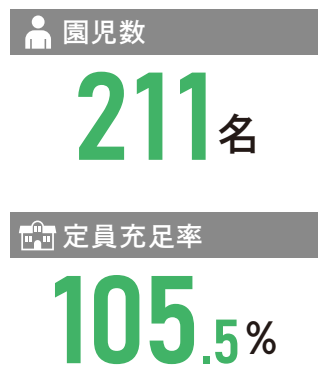
京都橘大学・大学院



京都橘中学校・高等学校



たちばな大路こども園



※1 調査時点…2025/5/1

※2 就職希望者の定義…民間企業もしくは公務員等の進路希望届を提出した者の数(進学、自営業、家事手伝い、留年、資格取得希望者は含まず)

※3 就職者(内定者)の定義…卒業時提出の進路登録票に正規職員と記入した者(常勤講師、1年以上の非常勤講師として採用された者を含む)の数。進路登録票未提出者、契約期間1年未満の非常勤職員、非常勤講師、アルバイト、パート等の非正規は含みません。

※4 経営学部生は一部の科目を随意科目(要卒単位外)として履修することになります。

京都橘学園の基礎データ ※()は男子内数

京都橘大学・大学院

京都橘大学

学部	在籍者数
工学部	888名(658名)
文学部	1,043名(515名)
国際英語学部	469名(214名)
発達教育学部	585名(110名)
総合心理学部	295名(97名)
現代ビジネス学部 ※2020年度まで	4名(4名)
経済学部	1,050名(769名)
経営学部	1,138名(771名)
看護学部	406名(30名)
健康科学部	1,088名(482名)
計	6,966名(3,650名)

京都橘大学大学院

研究科	在籍者数
文学研究科	16名(8名)
現代ビジネス研究科	7名(4名)
文化政策学研究科	1名(1名)
情報学研究科	28名(22名)
看護学研究科	21名(5名)
健康科学研究科	73名(51名)
計	146名(91名)

通信教育課程

研究科	在籍者数
健康科学部心理学科 ※2022年度まで	834名(186名)
総合心理学部総合心理学科	777名(235名)

2025年度入試における学部別志願・合格状況

学部	志願者数	合格者数
工学部	2,112名	946名
文学部	4,637名	1,659名
国際英語学部	1,487名	855名
発達教育学部	1,056名	514名
総合心理学部	1,988名	443名
経済学部	3,556名	1,136名
経営学部	4,681名	1,180名
看護学部	1,972名	413名
健康科学部	4,016名	1,270名
計	25,505名	8,416名

都道府県別在籍者数(学部生のみ)

北海道・東北	28名
関東	58名
甲信越	62名
北陸	370名
東海	295名
近畿	5,397名
中国	305名
四国	234名
九州・沖縄	180名
検定・その他	37名
合計	6,966名

教員数

教授	115名(90名)
准教授	48名(28名)
講師・助教	70名(37名)
助手	6名(2名)

職員数

専任職員	167名(86名)
臨時職員	43名(7名)

卒業生数合計(2025年3月/総数)

29,605名

海外提携大学

12カ国・地域 51大学

英語圏をはじめ、アジア圏を含む国・地域の大学と提携しています。

京都橘中学校・高等学校

中学校	生徒数	高等学校	生徒数
1学年	102名(45名)	1学年	366名(167名)
2学年	100名(46名)	2学年	335名(133名)
3学年	83名(37名)	3学年	368名(143名)
計	285名(128名)	計	1,069名(443名)

たちばな大路こども園

	園児数
1号認定	77名(41名)
2号認定	78名(30名)
3号認定	56名(24名)
計	211名(95名)



建物面積

土地面積



京都橘大学・大学院

71,922㎡

115,520㎡



京都橘中学校・高等学校

18,489㎡

37,779㎡



たちばな大路こども園

1,681㎡

3,044㎡

HISTORY

京都橘学園のあゆみ



【創立者】
なかもり たけお
中森 孟夫(1868年～1946年)

1868(明治元)年
滋賀県蒲生郡(現・日野町)の農家に
生まれる。

1890(明治23)年
泰西簿記学校を設立。その後、京都
高等学院などを設立。

1902(明治35)年
京都橘学園の前身となる京都女子手
藝学校を京都市内に設立。

1909(明治42)年
同校校長辞任。

1913(大正2)年～1919(大正8)年
ハワイ、ホノルルの日本人学校など
で教鞭をとる。

創立者 中森孟夫と京都橘学園

建学の精神

「力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん」

京都橘大学と京都橘中学校・高等学校の前身は「京都女子手藝学校」(1902年設立)です。創立者である中森孟夫は、青年時代、小学校で教鞭をとる傍ら、村の青年を集めて夜学を開き読み書きを教えました。この経験の中で中森は若者への教育の大切さに思い至りました。そして、17歳で京都に遊学し、当時、近代化にとって不可欠な知識だった簿記を教える「泰西簿記学校」を23歳で設立しました。その後、女性が経済的に自立(自営独立)することの重要性を認識し、「女子のための実業教育(技芸教育)の学校」として刺繍や裁縫を教える「京都女子手藝学校」を創設しました。同校は良妻賢母主義の女子教育が中心だった当時であって、珍しく、同時に社会的に意義ある学校でした。後に中森は同校を離れます

が、場所や校種は変えつつも生涯を通して学校教育に力を注ぎました。

中森孟夫は一貫して「変化の激しい時代においてこそ、自営独立するためにも知識と技能を修得することが大事である」と考えました。また、「学習者の自然と湧き出てくる要求に応えることが私の使命である」とも考え、生涯教育に情熱を注ぎ、多くの学校設立に取り組みました。

京都橘学園の建学の精神である〈力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん〉には、こうした中森の想いが端的に表れています。

本学園の教育内容は中森の時代から現代に至るまで大きな発展を遂げました。しかし、「生徒学生に自立して生きる力を付けたい」という想いは、今日まで変わることなく脈々と引き継がれています。

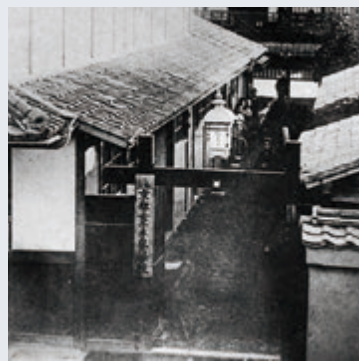
ORIGIN

名称の由来

「橘」は日本固有の柑橘樹で、みずみずしい常緑の葉と「ときじくのかくのこのみ」とも称される黄金の実はいにしえより繁栄や長寿の象徴として尊ばれています。前身の京都女子手藝学校の所在地が京都御所の西に位置していたことから、紫宸殿の前庭に植えられている「左近の桜、右近の橘」にちなんで名づけられました。

学園発祥の地

京都橘学園発祥の地は、現在の京都市上京区中立売の京都ブライトンホテルのあるところとす。京都女子手藝学校が戦後に京都橘女子高等学校(現・京都橘中学校・高等学校)となり、1985年に京都市伏見区桃山に移転。京都橘大学は1967年開学より京都市山科区に位置します。



創立当時の京都女子手藝学校

1902年	明治35年	●中森孟夫により京都女子手藝学校として京都市上京区に創立
1904年	明治37年	●「女子大学設立予備」の目的をもって高等文学部を開設
1908年	明治41年	●財団法人として文部大臣より認可
1910年	明治43年	●京都高等手藝女学校に改称
1948年	昭和23年	●新制高等学校として認可／校名：京都手藝高等学校
1951年	昭和26年	●私立学校法制定により財団法人を学校法人京都たばな女子学園に組織変更
1957年	昭和32年	●校名を京都橘女子高等学校に改称
1967年	昭和42年	●学校法人京都橘女子学園に改称 ●京都市東山区(現山科区)に橘女子大学開学／高田三郎が初代学長に就任
1974年	昭和49年	●新村猛が第2代学長に就任
1978年	昭和53年	●長廣敏雄が第3代学長に就任
1980年	昭和55年	●細野武男が第4代学長に就任
1985年	昭和60年	●伏見区桃山に高等学校を移転
1988年	昭和63年	●大学名を京都橘女子大学に改称
1989年	昭和64年 平成元年	●越智武臣が第5代学長に就任
1991年	平成3年	●文系大学進学コースを設置
1992年	平成4年	●千地万造が第6代学長に就任 ●女性歴史文化研究所開設 ●外国語教育研究センター開設
1993年	平成5年	●「清心館」完成
1994年	平成6年	●大学院歴史学専攻設置
1995年	平成7年	●門脇禎二が第7代学長に就任 ●総合進学(A)コース、特別進学(B)コースに改編
1996年	平成8年	●大学院文学文化専攻設置 ●国際教育(C)コース設置
1997年	平成9年	●文化財学科設置 ●「清史館」完成
1999年	平成11年	●大学院歴史学専攻(博士後期課程)設置
2000年	平成12年	●大南正瑛が第8代学長に就任 ●文化政策研究センター開設 ●特別進学(B)コースの男女共学化 ●校名を京都橘高等学校に改称 ●木内正廣が校長に就任
2001年	平成13年	●文化政策学部設置 ●「清風館」完成 ●リエゾンオフィス設置
2002年	平成14年	●学園創立100周年・大学開学35周年
2003年	平成15年	●山岸永一が理事長に就任 ●大学院文化政策学研究科(博士前期・後期課程)設置 ●全コース男女共学化 ●国際教育(C)コース、全員1年留学プログラム実施
2004年	平成16年	●田端泰子が第9代学長に就任
2005年	平成17年	●学園名を京都橘学園に改称 ●大学名を京都橘大学に改称 ●男女共学化 ●看護学部設置 ●文化政策学部現代マネジメント学科設置 ●看護実践異文化国際研究センター開設 ●言語教育センター開設 ●「清優館」「清香館」完成
2006年	平成18年	●看護教育研修センター開設
2007年	平成19年	●梅本裕が理事長に就任 ●文学部に児童教育学科設置 ●「児優館」完成 ●教育保育支援センター開設 ●認定看護師教育課程(WOC看護分野)開講

2008年	平成20年	●現代ビジネス学部設置(文化政策学部を名称変更) ●現代ビジネス学部都市環境デザイン学科設置(文化政策学科を改組) ●大学院看護学研究科設置 ●「クラブハウス」「クリスタルカフェ」完成
2009年	平成21年	●教職保育職支援室開設 ●総合進学(A)・英数特進(B)・国公立特進(S)の3コースに再編
2010年	平成22年	●青木圭介が第10代学長に就任 ●人間発達学部設置 ●稲吉陽作が校長に就任 ●伏見区桃山(高校敷地内)に京都橘中学校 国公立大学進学中高一貫(V)コース開校
2011年	平成23年	●総合教育センター開設
2012年	平成24年	●学園創立110周年・大学開学45周年 ●健康科学部設置 ●健康科学部心理学科に通信教育課程設置 ●文学部に歴史遺産学科設置(文化財学科を名称変更) ●総合学術推進機構開設 ●「優心館」「中央体育館」完成
2013年	平成25年	●細川涼一が第11代学長に就任 ●心理臨床センター開設
2014年	平成26年	●大学院看護学研究科に博士後期課程設置 ●三輪欣之が校長に就任
2015年	平成27年	●現代ビジネス学部経営学科設置(現代マネジメント学科を改組) ●学生コミュニティ施設・研究室棟「響友館」完成
2016年	平成28年	●健康科学部に救急救命学科設置 ●大学院健康科学研究科設置 ●理学療法教育研修センター開設 ●国公立大学進学中高一貫(V)・国公立特進(S)・特別進学(E)・総合進学(A)の4コースに再編
2017年	平成29年	●学園創立115周年・大学開学50周年 ●国際英語学部、発達教育学部設置(人間発達学部を改組) ●大学院文学研究科歴史文化専攻設置(2専攻を改組) ●大学院現代ビジネス研究科設置(文化政策学研究科博士前期課程を改組)
2018年	平成30年	●健康科学部に作業療学科・臨床検査学科設置 ●新教室棟「啓成館」完成 ●幼保連携型認定こども園 たちばな大路こども園開設／奥羽恵子が園長に就任
2019年	平成31年 令和元年	●大学院現代ビジネス研究科に博士後期課程設置 ●日比野英子が第12代学長に就任 ●生命健康科学研究センター開設 ●難波和子が園長に就任
2020年	令和2年	●安田文彦が校長に就任
2021年	令和3年	●経済学部経済学科設置 ●経営学部経営学科設置 ●工学部情報工学科設置 ●工学部建築デザイン学科設置 ●大学院健康科学研究科に博士後期課程設置 ●新教室棟「アカデミックリンクス」完成 ●新教室棟「mican」完成
2022年	令和4年	●学園創立120周年・大学開学55周年 ●「KYOTO TACHIBANA スタジアム」完成
2023年	令和5年	●片山傳生が理事長に就任 ●総合心理学部総合心理学科設置 ●教職保育職支援センター開設 ●情報学教育研究センター開設 ●選抜類型・総合類型の2類型に再編 ●河口智津子が園長に就任
2024年	令和6年	●大学院情報学研究科情報学専攻設置 ●「iCS研究デザインスタジオ」「図書館書庫棟」完成
2025年	令和7年	●岡田知弘が第13代学長に就任 ●文学部日本語日本文学科に国際日本文化コースを設置 ●経営学部経営学科にスポーツ経営学専攻を設置

MASTER PLAN

学びで世界を変える 一京都橘学園が創る新しい社会価値一

本学園では、予測困難な時代において学園の羅針盤となるマスタープランを策定し、全構成員が一丸となって取り組んでいます。2023年からスタートした〈第3次マスタープラン〉では、社会が凄まじいスピードで複雑に変化するなか、既成概念に捉われない、時代に先駆けた改革を実行し「学びで世界を変える」ことをめざします。

「よりよい学びや経験を提供し、学生・生徒・園児等が触れる世界を変える」

「これまでにない新たな価値を創造し、人々が住む世界をより良く変える」

社会価値創造の方向性

第3次マスタープランでは、以下の3つの方向性で新しい社会価値の創造をめざします。

情報学教育の充実/ 総合知の涵養

文系理系の垣根を越えた教育研究や通信・メディア教育の充実を通して、より多くの人々に良質な教育を届ける。

医工連携強化

学園の強みである医療と工学を発展させ、地域社会の健康増進やより良い医療の提供に貢献する。

教育創造

前例に捉われないアプローチで、教育環境・内容・方法の転換に取り組み、社会に新たな学びの形を示す。

MASTER PLAN 2027

京都橘学園中期重点計画

※計画内容はすべて予定であり変更することがあります

マスタープラン
特設サイト



社会とつながり、未来をつくる 一新たな価値創造への歩み一

01 工学系研究科を基軸に AI時代の社会課題へ挑む

情報学の高度化に向けて、工学系研究科を新設し、AI・IT分野の専門家を育成します。さらに情報系教育研究センターを設置し、社会人を対象に情報学と他分野を横断した実践的な教育プログラムを展開し、AI時代における社会課題の解決をめざします。

02 メディア/アート・通信教育を 起点とした新たな教育展開と 地域創造へ

メタバースやeスポーツ、デジタルアートなどへの注目が集まる中で、デジタルアート・メディア分野におけるクリエイターやエンジニアを育成するデジタルメディア学部^{*}を新設します。さらに同学科では通信教育課程を設け、社会人向けの教育と地域社会への展開をめざします。

03 人々の健康促進・ 地域社会医療充実に貢献

工学・医療の学び充実に向け、ロボティクス学科^{*}、臨床工学科^{*}を新設します。工学系、看護・医療系の学部間連携を強化し、各分野からIT技術を活用できる技術者・専門家を育成します。さらに、スポーツ分野の充実や健康医療施設の検討など、地域社会への展開にも取り組みます。

04 社会へ開かれた 新たな教育保育の提案

「たちばな教養学校 Ukon」の開講や全学的な教養教育の改革、図書館のリニューアルなど、学びの質的転換に取り組みます。また、リカレント教育やエクステンション教育を拡充し、より広く本学園の教育を社会に届けることをめざします。

05 世界と協働できる 人材を育成

海外大学との多角的な連携を実現し、多様な留学生との交流を生み出せるように国際化をめざします。通信教育も活用しながら、学生のグローバルな感覚を培い、海外を舞台に活躍できる素養を育みます。

06 成長し続ける 組織の構築・文化の醸成

改革推進のために、学校法人としての基盤強化に向けてガバナンス体制強化に取り組みます。また、変化し続けていける組織文化を大切にして、人材育成、業務のDX化などを推進。学園構成員が教育研究活動を通して新しい文化を生み出す土壌をつくります。

※ いずれも仮称。2026年4月開設予定(設置計画中)。計画内容は予定であり変更することがあります。

EDUCATION

京都橘大学の教育

教育理念「自立・共生・臨床の知」

本学での学びが多角的に物事を検討し、判断し、決定できる「自立」の力を育み、世界中のさまざまな文化や経済の仕組みをもつ人々と理解しあえる「共生」の姿勢を身につけ、学内外のフィールドで学んだ成果を社会へ還元する「臨床の知」へつなげることを目標にしています。

京都橘大学 学部・学科

工学部	情報工学科／建築デザイン学科
文学部	日本語日本文学科／歴史学科／歴史遺産学科
国際英語学部	国際英語学科
発達教育学部	児童教育学科
総合心理学部	総合心理学科
経済学部	経済学科
経営学部	経営学科
看護学部	看護学科
健康科学部	理学療法学科／作業療法学科／救急救命学科／臨床検査学科

京都橘大学 大学院 研究科

文学研究科
現代ビジネス研究科
情報学研究科
看護学研究科
健康科学研究科

NEW! 「学びで世界を変える」情報・AI・医療の教育研究拠点

2026年4月、10学部18学科を擁する1拠点総合大学へ※

デジタルメディア学部※

世界的に評価される、日本のゲームやアニメーション等のメディアコンテンツの制作技術および、CG、音響処理、AIなどの確かな技術を備え、次世代のコンテンツやシステムを創造できるクリエイターやITエンジニアを育成。

工学部 ロボティクス学科※

世界有数のロボット生産国である日本の産業を支えるべく、機械工学、電気電子工学、計測・制御工学、情報工学や先端のAI分野の知識・技術を身につけ、機械・ロボット・情報産業を始めとした幅広い分野で活躍できる人材を育成。

健康科学部 臨床工学科※

少子高齢化や医療人材不足など、課題を多く抱える国内の医療現場を「医療×工学」の力で支えるべく、医療に加え、AI・ICT分野の知識・技術を体系的に身につけた、次世代の臨床工学技士やメディカルエンジニアを育成。

※ いずれも仮称。2026年4月開設予定(設置計画中)。計画内容は予定であり変更することがあります。

NEW! 社会ニーズに対応した新たな学びを推進

2026年4月、国際英語学部と経済学部を2専攻制へ再編

国際英語学部 国際英語学科

グローバルスタディーズ専攻

1年次は英語を週6回履修して集中的に学び、2年次は1年間の海外留学を経験します。帰国後は英語で専門科目を受講し、高度な英語力と幅広い教養を強みに、グローバル化の進む教育現場や国際機関、官公庁、企業においてリーダーシップを発揮しながら活躍できる人材を養成します。

国際共生専攻

世界各国から集まる学生とともに国際都市・京都で学び、高度な語学力と教養、多様な価値観を身につけます。国内にいながら留学生たちとともに学び、京都の企業や観光関連産業と連携したアクティブラーニング科目を履修することで、業界動向や実務知識を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。また、希望者は在学中に半年間、留学することも可能です。

経済学部 経済学科

経済学専攻

現代経済社会において重要性が高まりつつある分野である「金融・産業」「地域・国際」「公共経済・政策」「医療・社会保障」「観光・文化」の5つのラーニングコースを設定。将来の進路も見据えて体系的に学ぶとともに、多角的な視点から現代経済社会にアプローチし、社会の課題を解決する力を養います。

現代社会専攻

「地域社会デザイン領域」「メディア文化デザイン領域」「ライフデザイン領域」の3領域から広く社会について学び、新たな社会や暮らしをデザインする力を養います。フィールドワークを通じて現代社会に深くアプローチすることで、さまざまな問題に多角的な視点から迫り、従来とは異なる発想で課題解決に取り組みます。

EDUCATION AND SUPPORT

京都橘大学の教育・サポート

京都橘大学の教育の特長

01 クロスオーバー教育で 文理横断の「総合知」を育む

工学、人文、国際、教育、社会、看護医療系といった文理多彩な9学部15学科が1キャンパスに集結。学部の垣根を超えた交流と学びにより、幅広い考え方や価値観を育みます。

- 全学部・全学科混合で学ぶ「たちばなBasis I・II」で1回生は教学理念を学び実践。大学での学びの土台を築きます(※)
- 他学部の科目から自身の学びに活かせるクロスオーバー科目を履修し専門性+αの力を身につけます
- 複数学科合同で取り組む課題解決型プロジェクトで文系理系にとられない思考力と課題解決力を育みます

※ 総合心理学部は2027年度より開始予定

02 産学公連携による 実践的な学びを展開

企業や自治体と連携したPBL(課題解決型学習)科目を多数開講しています。また、豊富な産学公連携科目を整え、早期から社会と連動した学びを展開します。

- 企業や自治体の具体的な課題について、事業所担当者とともに考えるPBL科目を多数開講
- 国内外問わず就業体験を伴う豊富なキャリア教育を実施
- 1回生から段階的にキャリア教育科目を配置し、自律的に自身のキャリアを描く力を育みます

03 BYOD(Bring Your Own Device)と AIデータサイエンス教育を 全学的に推進

2022年度より、数理・データサイエンス・AIの知識・能力を身につける「たちばなAI・データサイエンスプログラム」を実施しています。また、個人のノートパソコンを持参して学ぶBYODを推進し自律的に学ぶ力の養成と、高度情報化社会に対応できる力を育みます。

- ITリテラシーやデータサイエンスなど、学年や習熟度に応じて文理問わず学生が主体的に学べるプログラム
- プログラミングスキル、社会におけるデータやAIの利活用方法など実社会に活かせる力を育みます
- 文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定(認定期限:令和10年3月31日まで)



04 伝統の少人数教育に よるきめ細かな指導

学生1人ひとりとしっかり向きあえるよう、学生数6,966名に対し233名の専任教員が在席(2025年5月1日現在)。専任教員1人当たりの学生数は約30名で、ゼミでは徹底した少人数指導を行っています。

- 教員1人あたりの学生数約30名
- クラスアドバイザー制により4年間通じてきめ細かな指導体制
- クラス担当と就職進路課との連携によるキャリアサポートも

05 新たな学びの展開

通信教育課程との連携によりICT教育を先進的に取り入れ、通信教育と通学による学びの往還で新たな学び方を展開していきます。新しい社会価値の創造にむけて、教学改革、研究の高度化、地域・社会連携、キャンパスの国際化など更なる改革を進めます。

NEW!

2025年4月、京都橘大学の共通教育が新しくなりました。

新たな共通教育は、京都橘大学で基盤を学ぶ「**たちばなSeeds**」科目群に加え、「**教養教育**」「**多文化交流**」「**キャリア形成**」「**スポーツ・健康**」の5つの科目群を配置。教学理念〈自立〉〈共生〉〈臨床の知〉に対応する能力を身につけ、自身および社会が直面する課題を他者とのかわりの中で解決し、自らの力で人生を切り拓く人材を育成します。

共通教育ページ



キャリア教育と進路・就職サポート

変化に対応できる力を育み、未来を創造する人材を。

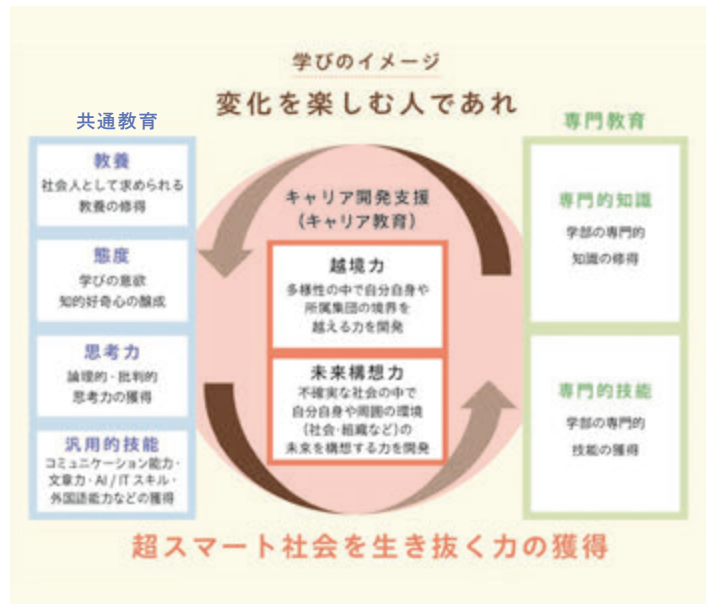
社会や自らの変化を楽しみながら、新しい時代に挑んでいける学生を育成するべく、これからの社会を生き抜くために必要となる能力や態度を、カリキュラム全体で涵養します。

キャリア教育の特徴

「越境力」と「未来構想力」の 往還によるキャリア教育

1回生前期からはじまるキャリアデザイン科目、オンラインキャンパスや国内外での就業体験を伴う産学公連携科目を段階的に受講し「越境力」と「未来構想力」を育みます。2つの力の往還により、自律的にキャリアを描く力を身につけ卒業後のキャリアにつなげます。

※2025年4月から、共通教育カリキュラムの改定により「キャリア形成科目群」として展開



就職支援プログラム

夢の実現に向け、学生の希望する進路別に様々な支援を用意しています。また、保護者と連携した取り組みや、4回生から低回生へのサポートなど、就職活動生を大学全体でバックアップしています。

地方自治体と連携、U・I・J ターン就職支援を強化

就職協定・連携を結んでいる自治体【25道・府・県1市】

大学と保護者が連携して総合的に支援

毎年、父母の会総会や地区別懇談会の場で「就職懇談会」を開催しています。

キャリアページ



キャリアセンター

一般企業への就職、起業、大学院進学など、多様な進路に対応したガイダンスを低年次から展開！キャリアアドバイザーによる個別指導や企業との接点も豊富に提供し、進路の実現を支えます。

公務員試験支援センター

公務員をめざす学生を応援するため、学内で格安の講座を開講！常駐する専門スタッフが学習相談や試験情報の提供など、きめ細やかなサポートを行うことで、難関試験の合格につなげます。

教職保育職支援センター

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員や養護教諭、保育士をめざす在学生および卒業生を支援！教育行政や教育現場で豊かな経験をもつ専門教員が進路相談や学生支援を行っています。

奨学金制度

多彩な奨学金制度で学びをサポートしています。

- 本学独自の奨学金制度(S 特待生制度、特待生制度、たちばな超AI時代特待生制度、共通テスト受験奨励奨学金、つながるたちばな修学支援給付奨学金、経済援助給付奨学金、留学先授業料支援制度など)

- 協定に基づく奨学金制度(京都第二赤十字病院特別奨学金)
- 公的奨学金制度(高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構貸与奨学金、病院貸与奨学金など)

CAMPUS

京都橘大学のキャンパス・施設・設備

最先端技術に支えられた教育研究棟



2026年春 新棟ACADEMIC TERRACE完成！

2026年春、新棟「ACADEMIC TERRACE」が完成予定。デジタルメディア学部^{*}やロボティクス学科^{*}、臨床工学科^{*}などの教育設備を設置し、食堂や各層ごとには緑化した半屋外・屋外のテラス空間を連続させたcommonsを配置。多様な学生が集い、ITやAI技術を駆使して新たな出会いとイノベーションが生まれる場となります。

※ いずれも仮称。2026年4月開設予定(設置計画中)。計画内容は予定であり変更することがあります。

Special PAGE



響友館1Fが最先端も詰まった 新たな憩いの場にリニューアル！ 無人決済システム導入のコンビニ併設！

2024年春、響友館1階に木のぬくもりを感じる明るいラウンジが誕生しました。ラウンジには西日本初の無人決済システムを導入したファミリーマートや生協ショップが併設されています。

今回は空間デザインの企業で活躍する卒業生が携わりました。

快適に過ごし、新しい出会いが生まれる、学生たちのためにデザインされた空間になっています。

卒業生インタビューは
TACHIBANA DISCOVERY
で公開中



開学以来初の大規模リニューアル！ 本と対話し、思考の根を養う 知的好奇心をかきたてる図書館へ

2024年9月21日に図書館が大規模リニューアルされオープンしています。新しい図書館は「ACADEMIC ROOTS」を新コンセプトに掲げ、学生たちが物事の根源を深め、好奇心をかきたてられる場を提供します。また、フロア別に「アクティブ」「リラックス」「クワイエット」のゾーンを設け、訪れる人の目的に合ったスタイルで過ごせるよう工夫しています。近年の学問領域の広がりや学生数の増加を受けて、新しい学びの空間として生まれ変わりました。



CLUB & CIRCLE

京都橘大学の課外活動

クラブ・サークル
紹介デジタル
パンフレット



公式サイト
にて公開中



2025年度は、体育系・文化系あわせて54のクラブ・サークル団体があり、多くの学生が所属しています。スポーツを通じた人間形成や世代を超えたスポーツ文化の涵養とwell-beingの形成と発展を追求することをスポーツ振興の目標としています。

体育系

25 団体

文化系

29 団体

※ 団体数は
2025年7月時点

強化クラブ

強化クラブについては、高校時代に優れた実績をおさめた人を対象にした学校推薦 型選抜[特技推薦・スポーツ文化部門]を実施しています。



● 女子バレーボール部
インドア部門



● サッカー部



● 女子バレーボール部
ビーチバレーボール部門



● 吹奏楽部



● 弓道部



● 陸上競技部〈女子短距離系〉

チャレンジクラブ

強化クラブに準ずる活動をしているチャレンジクラブ。公募制により現在は3X3部と京炎そでふれ！部が活動しています。



● 3×3部



● 京炎そでふれ！部

TOPICS 01

ビーチバレーボール部門

石原泉(2024年度卒)世界大会優勝

石原泉(経営学科)・檜原美陽選手(一つ山ホールディングス株式会社)ペアが、2024年9月12日(木)～9月14日(土)にアフリカのブルンジ共和国 ブジュンブラで開催された、「ビーチプロツアー 2024 / Volleyball World Beach Pro Tour Futures Bujumbra」で初優勝し、世界一に輝きました。

TOPICS 02

サッカー部 関西学生サッカーリーグ1部残留

2024年度に初挑戦となった関西学生サッカーリーグ1部に見事残留を果たしました。1部に初昇格を果たしたチームが残留するのは10数年ぶりの快挙となります。また、2025年5月より開催された「アミノバイタル®」カップ 2025 第54回 関西学生サッカー選手権大会ではベスト8進出を果たし、全国大会まであと一歩に迫りました。

TOPICS 03

陸上競技部〈女子短距離系〉

高宮ひかり(1回生)関西インカレ優勝

2025年5月4日(日)～7日(水)に開催された「第102回関西学生陸上競技対校選手権大会」において、高宮ひかり(スポーツ経営学専攻・1回生)が女子走り幅跳びで見事優勝を果たしました。創部初となる関西インカレでの優勝を成し遂げ、2期生として陸上競技部に初のタイトルをもたらす快挙となりました。

TOPICS 04

女子バレーインドア部門 関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(女子1部)準優勝

2025年4月12日(土)から開催された「RIGAVIL CUP2025 関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(女子1部)」において、9勝2敗の成績で準優勝を果たしました。課題に対して真剣に向き合い、より完成度の高いチームを目指していきます。

TOPICS 05

弓道部・女子団体

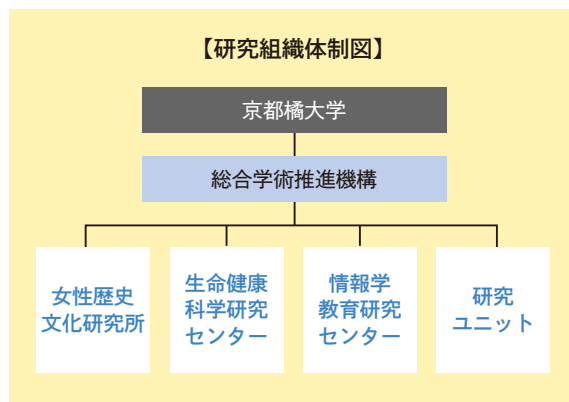
第37回全国大学弓道選抜大会 第3位入賞

2025年6月に開催された第37回全国大学弓道選抜大会において、見事3位に入賞する快挙を成し遂げました。全日本学生弓道連盟に加盟する全国の大学およそ350校の中から表彰台に立つのは非常に狭き門です。この成果を弾みに、今後も地域・全国における弓道の牽引役として飛躍を目指します。

RESEARCH PROMOTION

京都橘大学の研究推進

1967年の開学から今日に至るまで、研究のグローバル展開や産学官連携活動を推進する一方で、大学院の充実やリエゾンオフィスの設置など研究推進と支援のための組織づくりも強化してきました。また、研究推進組織として総合学術推進機構を設置し、そのもとに3つの研究所・研究センターを設置するとともに、本学の教学理念や学問・研究分野の特徴を活かして設定した4つの重点研究分野それぞれに分野横断的な探索を行う研究ユニットを置き、研究者の知的好奇心・探究心を大切に、既存の学問の枠に留まらない独創的かつ先端的な研究が生みだされる自由闊達な環境を整備し、学際的な研究へと発展させています。



01 | 研究組織

研究所・研究センター

女性歴史文化研究所

女性史を中心に据えた西日本初の研究機関として1992年に開設。女性の歴史・文化に関する総合的研究を行い、両性の視点から解明するとともに人類の文化の発展に寄与することを目的としています。

また、「女性」という視点から歴史を見つめ直すことで、歴史の空白部分を埋め、歴史学全体に深みと広がりをもたせることも大きな使命としています。2025年現在は第14プロジェクト「女性を取り巻く環境Ⅰ」に取り組み、以下の2テーマの研究がすすめられています。

- ジェンダーの構造を考える
国際比較による専門職(看護職)におけるジェンダーの構造に関する課題の明確化
- 歴史学からみる共同体と女性

生命健康科学研究センター

生命健康科学研究センターは、京都橘大学における健康科学に関する先進的な共同研究の推進および臨床検査学、細胞診断学の教育研究に資する事業の展開を目的として2019年に開設しました。2025年現在、以下の6テーマの研究がすすめられています。

- 子宮体癌幹細胞の形態学的・分子生物学的解析とその除去法
- 子宮頸がん検診のためのAIによる3D細胞画像診断装置の開発
- iPS細胞由来未分化細胞除去法の確立
- 慢性疼痛(特に神経因性疼痛)を軽減する治療薬の研究
～新規疼痛抑制物質の探索～
- 高齢ラットと若齢ラットにおける鎮痛薬の効果の比較
～慢性疼痛診断に有用な新規臨床検査法の開発～
- 炎症性腸疾患の病態把握に有用な新規バイオマーカーの樹立

情報学教育研究センター

情報学教育研究センターは、企業および研究機関等との連携を通じて情報学に関する先進的な研究成果を創出・社会還元するとともに、学内外への情報学教育の実施等により、情報化社会のさらなる発展に貢献することを目的として2023年に開設しました。

その目的のひとつである“学内外への情報学教育の実施”の一環として、11科目(各科目10回×55分)で構成される『情報学リスクリング講座』(文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択)を開発し、オンデマンド教材として広く社会に提供しています。(15ページ参照)

TOPICS

iCS研究デザインスタジオ

企業や大学等の研究者が共同研究に取り組み、社会課題の解決を図るiCSスタジオ、センサーやAIを活用した社会実装実験、知財等の専門人材による研究支援スペースとして活用するiCSオープンラボ、社会実装研究を構想中の関係者が交流し課題探索を行うコモンズ等を備えた情報学教育研究センターの拠点。文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」により2024年3月竣工。



▶ 教員プロフィールと研究シーズ集

本学に在籍する教員の研究業績等がわかる「教員プロフィール」と、それぞれの教員が現在取り組んでいる研究テーマ等を解説する「研究シーズ集」。いずれも本学のホームページにて公開しています。

教員
プロフィール



研究シーズ集



研究ユニット

本学の教学理念や学問・研究分野の特徴を活かし、2023年度から4つの重点研究分野を設定しています。それぞれの重点研究分野のもとには専門分野が異なる本学研究者が集い、これまでになかった研究の立ち上げに資する分野横断的な視点からの研究シーズの探索を行う研究ユニットを設置しています。2025年現在は14の研究ユニットが活動を展開しており、各重点研究分野における中心的存在となる学際的な研究の推進が期待されています。

研究ユニット



01 医療と情報技術・データサイエンス

超高齢社会にある日本において健康寿命を延伸し活力ある社会の創出をめざし、情報技術・データサイエンスを活用した医療システムやそれを支える技術、さらにそうした技術や医療システムを社会の中で活用するためのビジネスモデルや公共政策のあり方を対象とする研究領域です。

02 持続可能な共生社会 ～京都再生を中心として～

SDGsが注目されているように、持続可能な社会を実現していくことは人類共通の課題です。このような持続可能な共生社会について、とくに京都に焦点をあてて、人文科学、社会科学、自然科学のあらゆる領域から総合的にアプローチする研究領域です。

03 こころとからだ

こころとからだの関係は未だ十分な解明がなされていない領域ですが、この領域に心理学、生命健康科学を中心にアプローチする研究領域です。その研究成果は、医療や教育だけでなく行動経済学や工学の領域などへの応用も期待されます。

04 女性の歴史を学び、女性の未来を考える

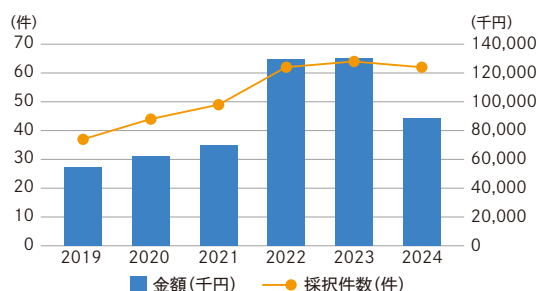
これまで女性歴史文化研究所ですすめられてきた研究をベースに、さまざまな学部で「女性の歴史を学び、女性の未来を考える」研究を推進することで、社会のジェンダー平等につながる本学らしい取り組みの推進が期待される研究領域です。

02 | 研究費

科学研究費助成事業(科研費)

科研費は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」です。

本学における科研費採択状況



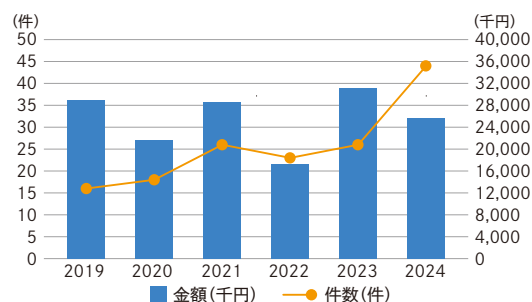
2024年度採択件数(京都府内4年制大学)

※ 採択件数は新規+継続 ※ () は2024年度の新規採択率 ※ 上位32大学を掲載

大学名	採択件数*	大学名	採択件数*
1 京都大学	2,903 (39.2%)	6 京都産業大学	134 (28.3%)
2 立命館大学	669 (25.9%)	7 龍谷大学	125 (26.0%)
3 同志社大学	363 (33.0%)	8 京都府立大学	79 (34.5%)
4 京都府立医科大学	298 (30.2%)	9 京都先端科学大学	70 (21.4%)
5 京都工芸繊維大学	140 (25.1%)	10 京都橘大学	62 (31.7%)
11 佛教大学	57	17 京都光華女子大学	17
12 京都女子大学	54	19 京都外国語大学	15
13 京都教育大学	45	20 花園大学	15
14 同志社女子大学	44	22 京都ノートルダム女子大学	13
15 京都薬科大学	42	23 京都文教大学	11
16 大谷大学	20	24 京都精華大学	8
17 京都市立芸術大学	19	25 明治国際医療大学	7
18 京都芸術大学	18	26 京都医療科学大学	7
		27 京都美術工芸大学	6
		28 京都看護大学	4
		29 平安女学院大学	3
		30 嵯峨美術大学	3
		31 京都情報大学院大学	3
		32 京都華頂大学	2

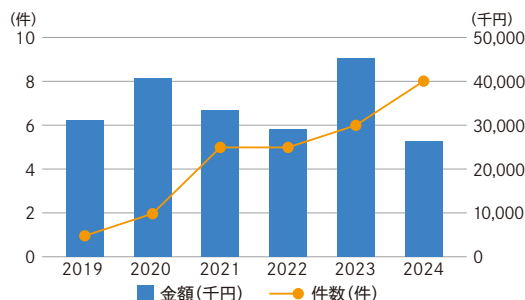
外部からの研究資金

奨学寄附金・受託研究・学外共同研究等の受入れ・獲得状況



※財団法人・民間企業等からの研究助成金、企業等との共同研究費・受託研究費、研究の奨励を目的とした企業や個人からの寄附金(奨学寄附金)を合計しています。

省庁など公的機関の委託研究事業等への採択状況



※国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) CREST・OPERA・SICORP、文部科学省 Society 5.0 実現化研究拠点支援事業、厚生労働省科研費等の採択額を合計しています。

SOCIAL COLLABORATION

京都橘大学の社会連携活動

教学理念である「臨床の知」を「臨床＝現場＝地域」と位置づけ、地域から学び、地域と共生する教育研究や社会連携活動を推進しています。大学と地域をつなぐ窓口として「地域連携センター」を設置し、ニーズに応じた活動支援体制の構築や、活動成果の発表・発信、自治体や外部諸関係機関・団体との連携を推進しています。

学まちチャレンジ！プロジェクト

学まちチャレンジ！プロジェクトは、京都市「学まち連携大学」促進事業(2020～2023年度)に採択された本学の取り組みの一つとして、学生から応募される主体的な地域連携活動に対し助成を行ってきました。

「学まち連携大学」促進事業の終了後も、本プロジェクトを継続して実施することで本学学生の地域社会における多様な学びを支援し、自主性・企画力・課題解決能力などを培い、その活動をもって、地域貢献や大学活性化、学生文化の向上につなげています。

※2025年度は自由テーマ型10団体、テーマ設定型3団体が活動。

自由テーマ型(2024年度実績)

- 01 書道を楽しくしっかり学ぼう!(活動団体: OSJ 橘)
- 02 子宮頸がんは予防できる?!～予防の大切さを学んだ看護学生だからこそ伝えたい～
(活動団体: 京都橘大学ピアカウンセリングサークル)
- 03 山科「ふるさとの会」と連携した山科の歴史遺産魅力発掘プロジェクト
(活動団体: 京都橘大学考古学研究室 山科遺跡魅力発掘チーム)
- 04 健康で長生きするために(活動団体: ナースのたまご)
- 05 運動で地域をつなGO!!! (活動団体: 看護医療系サークルNICO、看護学部有志)
- 06 備えようその瞬間(活動団体: 防災サークルFAST)



テーマ設定型(2024年度実績)

- 01 地域交流拠点を活用したふれあい健康イベント
(連携先: コミュニティ・バンク京信 山科支店)
- 02 みんなで受けよう!がん検診(連携先: 山科区役所)
- 03 醍醐地域における子ども・子育て層が住みやすいまちづくり
(連携先: 醍醐いきいき市民活動センター)



学生団体「まちづくり研究会」

京都・山科地域活性化の活動をおこなう学生団体。現在は、約30名の学生が所属しており、「陶灯路」(京焼・清水焼の陶器にろうそくの火を灯しライトアップするイベント)や地域のこども食堂活動の支援などさまざまな地域連携・貢献活動を実施しています。



たちばなサイエンスデー

「大学の研究にふれてみよう」をテーマに、各学科や学生団体がブースを設置し、小学1年生から6年生を対象に趣向を凝らした内容でさまざまな体験やものづくりを実施します。2021年度から開催し、毎回200人以上の児童が参加する地域に根付いたイベントとなっています。



たちばなこども食堂

世代や立場を超えたコミュニティ創出を目的に、2022年度から実施している取り組みです。食事の提供だけでなく学生団体による体験イベントも同時に開催しています。山科地域のこども食堂等や山科青少年活動センターと協力し、参加者に山科地域のこども食堂を紹介する活動も行っています。



醍醐中山団地での地域連携活動

地域連携センター分室

京都市から醍醐中山団地の棟の1階部分を借り受け、「地域連携センター分室」を開設し、ここを拠点として、学生や教職員が団地内の高齢者支援や子育て世帯との交流活動を実施しています。





協定締結団体(自治体・企業等)一覧(2012～2025年7月現在)※五十音順

【自治体】

- 京都市
- 京都市山科区
- 京都府与謝野町
- 滋賀県大津市
- 滋賀県草津市
- 滋賀県守山市
- 滋賀県野洲市
- 福井県小浜市
- 和歌山県
- 和歌山県那智勝浦町

【大学】

- 大阪大学データビリティフロンティア機構
- 学校法人昭和大学
- 北見工業大学
- 京都芸術大学
- 京都薬科大学
- 公立はこだて未来大学
- 国立大学法人滋賀大学
- 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
- 信州大学
- 電気通信大学
- 北海道大学

【企業・団体等】

- イオンタウン株式会社
- 医療法人栄仁会
- 医療法人社団洛和会
- 大津市老人クラブ連合会
- 株式会社ビバ
- 株式会社未来シェア
- 株式会社ルネサンス
- 公益社団法人
京都市児童館学童連盟
- 日本赤十字社
京都第二赤十字病院
- 京都府山科警察署
- 公益財団法人
滋賀県文化財保護協会
- 公益財団法人
京都市音楽芸術文化振興財団(京都市東部文化会館)
- 社会福祉法人大宅福祉会
(おおよけこども園)
- 社会福祉法人京都博愛会
(京都博愛会病院)
- 全国認定こども園協会京都府支部
- 醍醐中山団地町内連合会
- 日本電気株式会社(NEC)

生涯学習

大学で取り組んでいる教育・研究成果を公開し、生涯教育の場を提供することを目的として、
各種の公開講演会などを実施しています。

たちばな教養学校 Ukon

詳しくは
こちら

2023年春「生きる」をもっと深く味わうための新しい学びのプロジェクト「たちばな教養学校 Ukon」が開講しました。学頭に河野通和氏(編集者・読書案内人・本学客員教授)をお迎えし、自然や生命のなりたち、社会のあり方、私たちの生き方を問いながら、「ともに学ぶ」を通して、自他の関係を見直し、「ケア」の精神に生かされた寛容な社会をめざします。

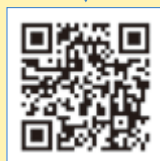


たちばな教養学校
Ukon特設サイト

情報学リスキリング講座

詳しくは
こちら

AIの発展とそれらを駆使したDX(デジタルトランスフォーメーション)が注目される現代社会。メール、プレゼンテーション等のソフトウェアが使えるだけでは先端的な情報技術の活用やDXの推進を十分に検討することはできません。これからの情報化社会をリードするには情報学の体系的な学習が不可欠です。情報学教育の一環として、11科目で構成される講座を提供しています。



情報学
リスキリング講座
申込サイト

リカレント講座

社会人を対象に大学の専門分野である看護医療や保育教育などの講座を展開しています。

2025年度開講の講座

- たちばな みんな得する！
保育・教育まなびセミナー 2025
- デジタルヘルス時代の看護：
DXがもたらすテクノロジーとケアの融合
など

EDUCATION

京都橘中学校・高等学校の教育

中学校

Vコース(国公立大学進学中高一貫コース)

Vαクラス*

Vクラス

高等学校

選抜類型

総合類型

※ 2025年度新設

教育理念「自立・共生」

創立者の建学精神を受け継ぎながら、現在、「自立・共生」を教育理念として常に新たな教育課題に挑戦し続けています。京都橘は、一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせ、先行き不透明な未来をたくましく切り拓き、社会に貢献できる人間性豊かな人材を育成しています。

魅力ある学校づくり「未来プロジェクト」

魅力ある学校づくりをめざし、「ASTM(進学プログラム)」「ICT教育」「選べる放課後TIME」「探究活動」「グローバル教育」などを柱に、「未来プロジェクト」を推進中です。生徒の志向に応じて放課後や土曜日を有効活用できる自由度の高いカリキュラムを採用し、生徒や教職員がワクワクする希望を持ちながらチャレンジ精神を育める教育を展開しています。



京都橘独自の学習スタイルで、生徒の進路を実現

生活や学習環境、目的設定からその実現へのプロセスなどについて、教職員が一丸となってサポートする「橘メソッド」で、生徒の夢や望む進路の実現を後押ししています。2025年度大学入試では、京都大、大阪大、神戸大など国公立大に55名合格、私立大へは1,239名が合格しました。関関同立へは142名、産近龍へは260名と関西圏の私立大学はもちろんのこと、早慶理MARCHや医学部医学科など幅広い進路を実現しています。



生徒全員を、本当に行きたい第一志望校へ

国公立大学

55名
合格

関関同立

142名
合格

産近龍

260名
合格

早慶理 MARCH

13名
合格

ブログ
「橘の風」



中学デジタル
パンフレット



高校デジタル
パンフレット



CLUB ACTIVITIES

京都橘中学校・高等学校のクラブ活動

クラブ活動でも躍進！

全国の大舞台で、世界で、京都橘旋風

クラブの活躍はめざましく、全国の大舞台で京都橘旋風を巻き起こしています。2025年1月1日には本校吹奏楽部がアメリカ・ローズパレードに出場しました。世界中から選抜されたマーチングバンドのわずか20団体だけが参加できる夢の舞台に、2012年、2018年に続き3度目の出場<日本初>となります。多くの方のご支援に感謝しつつ、世界に京都橘の音楽と笑顔を届けました。



陸上競技部



- インターハイ 17大会連続24回出場
- 2024インターハイでは、女子4×400mリレーで第2位、女子4×100mリレーで第4位

男子サッカー部



- 全国高等学校サッカー選手権大会 11回出場
- インターハイ 6回出場
- Jリーガー 16名輩出

吹奏楽部



- 全日本マーチングコンテスト4年連続金賞
- 2年連続(2022・2023年度)台湾遠征で台湾中を魅了
- 全国各地での公演やメディアへの出演も多数

女子バレーボール部



- インターハイ 28回、春の高校バレー 4年連続27回出場
- 2024年インターハイではベスト8
- パリオリンピックに卒業生2名出場

EDUCATION

たちばな大路こども園の教育・保育

教育・保育理念「**自立・共生**」

本園は「幼保連携型 認定こども園」として、保護者の就労に関わらず、就学前の教育・保育を一貫して提供する施設です。また、幼稚園や保育所、認定こども園に通っていない場合でも、子育て相談や親子の集いの場の提供など、地域の子育ての支援を行っています。

※認可幼稚園と認可保育園の認可基準を満たし、学校及び児童福祉施設としての法的位置付けを持つ単一の施設です。

教育・保育目標

心身ともに健やかな子ども

01

元気な子ども

02

自分で考え
行動する子ども

03

思いやりの
ある子ども

04

素直に表現する
子ども

教育・保育の特色



自然、あそび、仲間を大切にした教育・保育での

さまざまな生活・経験を通して「生きる力」の土台をつくります。

0歳児から就学前までの人生の土台を形成する最も大切な時期に、子どもたちには自分自身をかけがえのない存在として肯定する心と仲間たちをかけがえのない存在として認める心を育ててほしいと考えています。保護者の皆様と地域、教職員がつながり、子どもたちの成長を心から喜び合える「笑顔あふれるこども園」づくりをしていきます。

ACTIVITIES

たちばな大路こども園の特色ある取り組み

01



乳児教育

育児担当制

子どもたちの第二の家庭としての大切な役割を担っている乳児保育。初めて家庭以外の世界を経験していく子どもたちを育児担当制で愛情を持って育てていきます。どの子どもにも抱き所があり、大切に见守られる中で安心して遊び、『大切にされている』『安心して何でもできる』という自己肯定感を育てていきます。

02



幼児教育

自立・共生

教育・保育理念でもある“自立”と“共生”を土台に教育・保育を行っています。自然豊かなみどりの広い園庭や、果樹園・菜園には子どもたちの好奇心を刺激するものがいっぱいです。子どもが自分で発見したり考えたりつくり出したりする経験を大切に、保育者は見守り寄り添いながら大切な意欲を育てていきます。

03



子育て支援

地域に開かれた子育て支援

未就園児や保護者を対象とした子育て事業を月4～5回程度実施しており、合わせて未就園児の一時預かり保育事業を週3～4日実施しています。「地域とつながる子育て支援を」を合言葉にYouTubeチャンネルを開設。動画によっては6万回の再生回数を超える人気コンテンツとなっています。たんぼぼんとひだまりんのキャラクターも定着してきました。

04



地域連携・学園内連携

地域に根ざした園活動

2024年度も、大路まちづくりセンターと協力した園イルミネーション、小汐井シニアーズをお招きして伝統あそびや小汐井神社での獅子舞見学など地域交流などを実施しました。特に今年度は、高齢者との交流会に参加したり、園でのもちつきにお手伝いしに来て頂いたりしました。学園内連携では高校太鼓部との交流や大学サッカーグラウンドに5歳児が招待され、広大なグラウンドで強化系クラブの大学生と交流しながら運動を楽しみました。2025年度はさらに連携を強化し、子どもたちがより多くの体験をできる企画を検討しています。



ひだまりん

たんぼぼん

たちばな大路こども園 Youtube チャンネル

たちばな大路こども園の公式チャンネルです。

園児たちの日常や子育て支援の内容を発信していきます。



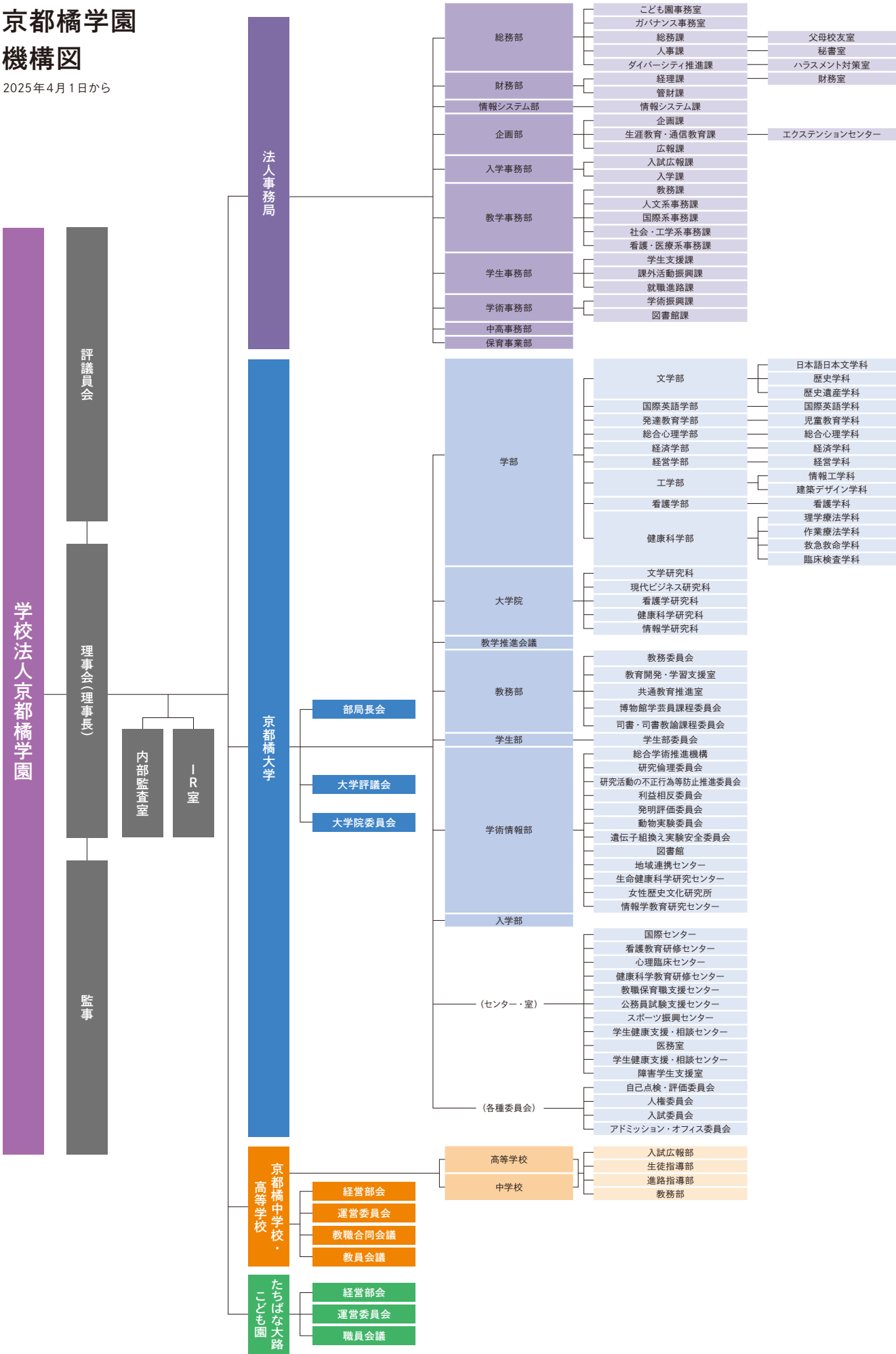
YouTubeへ
移動します

MECHANISM DIAGRAM

京都橘学園

機構図

2025年4月1日から



LINK

リンク集

京都橘大学 淳芳会

京都橘大学 淳芳会は、卒業生全員が加入する同窓会で、第1期生が卒業した1971年に設立されました。現在では、27,000名を超える会員数となっています。会員相互の親睦をはかり、また京都橘大学の教育・研究活動を支援することを目的としています。

詳しくは
こちら



京都橘大学 父母の会

京都橘大学父母の会は、「大学と家庭との連絡を緊密にして教育の効果をあげ、大学の発展に寄与すること」を目的としています。父母の会の行うさまざまな教育事業や各種事業を通じて、ご家族の皆さまに大学の現状や教育方針をご理解いただき、お子さまの学生生活がより豊かになるようにご協力をいただいています。

父母の会
活動紹介動画
配信中！



2026年度 新学部・新学科 特設サイト 「ぜんぶ、越えてく。」

京都橘大学は2026年4月、新時代を担う人材の育成をめざし、デジタルメディア学部^{*}、工学部ロボティクス学科^{*}、健康科学部臨床工学科^{*}の新設を予定しています。また、デジタルメディア学部^{*}には通学課程のほか、通信教育課程を設置する予定です。

詳しくは
こちら



新学部・新学科
特設サイト



京都橘大学通信教育課程
(たちばなエクール)
デジタルメディア学部

京都橘学園 基金サイト 「たちばなGIFT」

2027年、京都橘学園は創立125周年を迎えます。これからも、教育を通じて新しい価値を創造し、学生、生徒、園児一人ひとりの可能性を広げるとともに、より良い社会の発展に寄与していけるよう、歩みを続けます。皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

詳しくは
こちら



学園創立125周年
特設サイト

※ いずれも仮称。2026年4月開設予定(設置計画中)。
計画内容は予定であり変更することがあります。

UICK Radio

FM-KYOTO「a-STATION」で京都橘大学のラジオ番組「UICKRadio」が毎月第1・第2水曜日に放送中です。DJの前田彩名さんが毎回、教員や学生をゲストに迎え、子どもから大人まで、明日誰かに伝えたいくなるワクワクするお話をお届けしています。

YouTube
にて公開中



「UICKRadio」
過去の放送回

AI研究のパイオニア 松原仁教授の 夢と研究の世界に出会える 「ヒトシの部屋」

詳しくは
こちら

AI研究の第一人者である、工学部松原仁教授が取り組むプロジェクトをまとめた特設サイト「ヒトシの部屋」を公開しています。「AIロボティクス」の面白さ、未来の可能性を対談やコラム、動画などさまざまなコンテンツとして、展開しています。



「ヒトシの部屋」
特設サイト

KYOTO TACHIBANA FACT BOOK



変化を楽しむ人であれ

学校法人京都橘学園

京都橘大学

工学部 文学部 国際英語学部 発達教育学部 総合心理学部
経済学部 経営学部 看護学部 健康科学部

大学院

文学研究科 現代ビジネス研究科 看護学研究科 健康科学研究科 情報学研究科
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 TEL.075-571-1111 FAX.075-574-4122

京都橘高等学校

選抜類型 総合類型

京都橘中学校

国公立大学進学中高一貫(V)コース
※2025年度から「Vaクラス」新設
〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50 TEL.075-623-0066 FAX.075-623-0070

たちばな大路こども園

〒525-0032 滋賀県草津市大路2丁目1番55号 TEL.077-516-0180 FAX.077-516-0181

京都橘学園の
各校ウェブサイト

京都橘大学



京都橘
中学校・高等学校



たちばな大路
こども園

